

テーマ 販路・市場の開拓

(平成22年度組合資料収集加工事業報告書「先進組合事例抄録」より)

上海万国博覧会への出展で中国市場開拓に乗り出す南部鉄器 岩手県南部鉄器協同組合連合会

上海万国博覧会に巨大南部鉄瓶や南部鉄器の鉄瓶・急須を展示してPR。この万博を契機に中国企業と会員組合との間で南部鉄瓶の千万円単位の売買契約が成立した。

背景と目的

岩手県を代表する伝統的工芸品である南部鉄器は、次世代まで持つとされる耐久性と高品質で知られるが、時代の変化から安くて軽く取扱いが簡単なアルミ製品に押され、平成13年に約46億円あった出荷額が平成20年には21億円と半分以下に激減し、国内の百貨店に売り込む従来のやり方では経営が立ち行かないという危機感が業界に強まった。この状況を打開し、海外への販路拡大を図るため、数年前から欧米市場に参入し輸出額を増やしてきた。昨今、中国や東

南アジアなど高度経済成長が続いている新興国において、伝統的工芸品である南部鉄器が人気を得るようになり、今後の需要が期待されることから、これらの地域でのPR・販売促進を強化することが急務となっていた。

事業・活動の内容

上海万国博覧会に岩手県、上海大可堂有限公司、プーアル市が共同出展し、当組合は、巨大南部鉄瓶（高さ1.6メートル、重量210キロ、容量260リットル、お茶約2600杯分）をイベントホールに展示したほか、通常の南部鉄瓶、急須、南部鉄瓶製造過程の紹介、記念品（鉄瓶キーホルダー等）の出展を行い岩手県の物産と観光をPRした。また、これを契機に知事とプーアル市長とにおいて、お互いの特産品である南部鉄瓶とプーアル茶とを相互に普

活動の成果

上海万博を契機に、会員組合である南部鉄器（協）及び水沢鋳物工業（協）は、それぞれ上海大可堂有限公司と商品売買契約を締結することとなった。また、会員組合の構成企業がそれぞれに独自の販売ルートを確認し販売額を増やしている。その他、水沢鋳物工業（協）は上海万博への出展の経験を生かし、平成22年12月に台湾・台北市で開かれる台湾国際茶葉博覧会に南部鉄瓶を出展することとなった。

すでに販路を拡大している欧米圏とともにアジア圏の市場参入を

及・宣伝する内容の友好協定が締結された。出展した巨大南部鉄瓶やその他商品等は全て中国の会社を買ってもらったことで、出展に伴う経費を最低限に押さえることが可能となった。

果たすこととなり、今後、海外売上高のさらなる増加が見込まれる。組合員等の取り組みがマスコミに紹介されており業界発展の新たな兆しが見え始めてきた。



上海万博での出展風景

岩手県南部鉄器協同組合連合会

住所：〒020-0055
岩手県盛岡市繫字尾入野64-102
設立：昭和34年11月
出資金：250千円
電話：019-689-2336
URL：<http://www.ginga.or.jp/~nanbu/>
<http://www.ginga.or.jp/~imono/>
業種：鋳鉄鋳物製造業
会員：2組合（所属員68人）
組合専従者：1人